

令和5年度
横浜市立岡津中学校

学校説明会



日 時 令和5年4月14日（金）
14:30～

会 場 岡津中学校 体育館

会 次 第

- ① 学校長あいさつ
- ② 本校の教育活動と特色について
- ③ 学習指導について
- ④ 新教育課程と評価について
- ⑤ 生活指導について
- ⑥ 情報教育について
- ⑥ 保健関係について
- ⑦ 学校納入金について
- ⑧ 部活動について
- ⑨ 質疑応答

司会 学年主任

教務主任
学習指導部長
教育課程委員長
生徒指導専任
情報部長
養護教諭
副校長
部活動顧問会代表

横浜市立岡津中学校 全体構造図

日本国憲法、教育関係法規
学習指導要領
横浜教育ビジョン
横浜市教育振興基本計画
横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領

＜ 岡中ブロック 9年間で育てる子ども像＞
主体的に自分の想いを表現していく子ども

未来を切り拓く子どもたちを育てます

- 自らねばり強く学び、生きる力 (知・体)
- 互いの違いを認めあい、思いやる心 (徳)
- 多様性を尊重し、グローバルな視点をもつ力 (公・開)

○全教職員同じベクトルで未来を担う生徒の育成に取り組みます。

- ・個に応じた指導を充実させるとともに、生徒が主体的・対話的で深い学びに向けた授業を目指す。
- ・挨拶を大切にし、自尊感情・自己肯定感を高め、互いの違いを認め合う人間尊重の精神を育てる。
- ・心と体を一体としてとらえ、学校生活や生涯を通して積極的に運動に親しむ資質や能力を育てる。
- ・社会的視野を広げ、社会の一員としての自覚と責任を高めるとともに郷土愛を育てる。
- ・小中一貫教育を推進するとともに地域や家庭、関係機関との連携を深め、地域に根付いた、開かれた学校を目指す。

各学年及び個別支援学級の目標

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かい合う力・人間性等
第一学年	中学生としてねばり強く学び続け、社会的視野を広げる知識と技能の基礎を身に付ける。	学校生活を通じて、主体的・対話的で深い学びに通じる思考力・判断力・表現力の基礎を養う。	中学生として自らを高めるために、ねばり強く学び続ける姿勢と、自尊感情・自己肯定感を高める人間尊重の精神を育てる。
第二学年	学びの基礎を活かしつつ、社会の中で自らが活躍できるための知識と技能を身に付ける。	主体的・対話的で深い学びを通じて自己実現の達成の基礎につながる思考力・判断力・表現力を養う。	社会に参画する姿勢を養うために、他者理解や社会の一員としての自覚の基礎を養う。
第三学年	社会貢献できる人材となるため、地域社会の一員として主体的に社会参画できる知識と技能を身に付ける。	自己実現を達成するために、主体的・対話的で深い学びに通じる思考力・判断力・表現力を発展的に養う。	社会の一員として自覚と責任を深め、社会貢献できる主体的な人間性の確立を目指す。
個別支援学級	社会生活に必要な知識と技能を身に付ける。	社会生活や集団生活において知識・技能を活用するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付ける。	日々の学習に主体的に取り組む。自立活動では、自分の特性を考えて取り組む。

育成を目指す資質・能力

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かい合う力・人間性等
国語	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようする。	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、わが国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
社会	社会的事象に関する基本的な知識を理解させるとともに、様々な様式の資料を使って調べ、情報を読み取り、それらをまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象について多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	社会的事象についての課題を主体的に解決しようとする態度を養い、基本的な知識についての理解をより深めようとしたり、社会的事象について多面的・多角的に考察しようとしたりする姿勢を身に付けるようにするとともに、社会参画の大切さについての自覚を深める。
数学	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
理科	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本的な技能を育てる。	観察、実験を行い、科学的に探究する力を育てる。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を育てる。
音楽	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、自己のイメージや感情などと関連付け、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わい、自分なりにその音や音楽を価値付けたりしながら、聴き深めていくことができるようにする。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に主体的、協働的、創造的に関わり親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
美術	対象や事象を捉える造形的視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
保健体育	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて試行し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
技術・家庭	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、意欲的に活用できるようにする。	小学校や他教科での既習内容および、日々の生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養い、解決のための方策を探ることができるようにする。
外国語	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	日常的な身の回りの話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して即興で表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
道徳科	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、規範意識、場に応じた判断力、他者の気持ちを尊重する心情、意欲などの、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。		
総合的な学習の時間	探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。	実社会や実生活の中から課題を見だし、解決のための見通しをもって、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	課題のよりよい解決を目指し、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、地域社会の一員として行動しようとする態度を養う。
特別活動	よりよい生活を築くための知識・技能を身に付けるようにする。	集団や社会の形成者としての思考力・判断力を身に付け、自己表現できる力を養う。	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度と自己の将来の生き方を考え、その実現に向けて日常生活を向上させようとする態度を養う。

人権教育 (含外国籍生徒に対する教育) : 多様性を踏まえた教育 「一人ひとりの人権を尊重し合う人間関係づくりを進め、相手の気持ちや立場を考えて行動できる子を育てる」という岡中ブロックの人権テーマに向けて、日々の授業や学校行事、環境づくりを通して、子どもの自尊感情、人権感覚、人権意識を育てる取組を推進する。	特別支援教育 : 多様性を踏まえた教育 ユニバーサルデザインの視点を踏まえ学びの場の充実を図るとともに、さまざまな教育的ニーズを把握し、多様な教育の場を提供するなど、個に応じた指導や支援を行う。
キャリア教育 (自分づくり教育) : 教科等横断的な視点に立った教育 自己の特性と生涯の中での自己の役割、社会の仕組みと将来の生き方への理解と考えを深める機会を一層充実させる。	健康・安全に関する教育 : 教科等横断的な視点に立った教育 健康・安全を大切にする学びを推進し、清潔で整頓された環境づくりを一層充実させる。

学校教育目標	未来を切り拓く子どもたちを育てます ・自らねばり強く学び、生きる力 (知・体) ・互いの違いを認めあい、思いやる心 (徳) ・多様性を尊重し、グローバルな視点をもつ力 (公・開)				
	学校概要 創立 77 周年 児童生徒数: 674 人	学校長 相澤 順 主な関係校: 岡津小学校・上矢部小学校	副校長 大内 雅代	3 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 【自分づくりに関する力】 【持続可能な社会の創造に貢献する力】	岡津中 ブロック 岡津小 上矢部小	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 主体的に自分の想いを表現していく子ども ○授業研究等を実施し、各教科・領域で「9年間で育てる子ども像」を見直し、指導内容・指導方法を推進 ○児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施 ○生徒会による中学校説明会や運動会等へのボランティア活動、部活動体験等、積極的な児童・生徒交流を実施
--	--------------------------------	--

中期取組目標	○全教職員で同じベクトルの下、未来を切り拓く生徒の育成に取り組みます。 ・個に応じた指導を充実させるとともに、生徒が主体的・対話的で深い学びに向けた授業を目指す。 ・挨拶を大切にし、自尊感情・自己肯定感を高め、互いの違いを認め合う人間尊重の精神を育てる。 ・心と体を一体としてとらえ、学校生活や生涯を通して積極的に運動に親しむ資質や能力を育てる。 ・社会的視野を広げ、社会の一員としての自覚と責任を高めるとともに郷土愛を育てる。 ・小中一貫教育を推進するとともに地域や家庭、関係機関との連携を深め、地域に根付いた、開かれた学校を目指す。
--------	---

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>学習指導の充実</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>学習指導部</td> </tr> </table>	知	学習指導の充実	担当	学習指導部	①校内授業研や小中一貫ブロック授業研を通して研修を深め、生徒自らが問いを見だし解決していく授業を目指した授業改善を行う。②分析チャートや生徒・保護者による授業評価を活用して授業を見直し、生徒のねばり強い取組や自己の学習の調整を促す。
知	学習指導の充実				
担当	学習指導部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>学習・特活指導部</td> </tr> </table>	徳	豊かな心	担当	学習・特活指導部	①横浜子ども会議のテーマを基に生徒会による「あいさつ運動」をさらに浸透させるとともに、確かな人権感覚・意識の向上を図るために全校で人権作文・人権週間における活動に取り組む。②体験学習や地域行事を通して思いやる心や公共心を育成し、社会の一員としての自覚を高める。
徳	豊かな心				
担当	学習・特活指導部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>保健体育科・保健安全指導部</td> </tr> </table>	体	健やかな体	担当	保健体育科・保健安全指導部	①新体力テストの結果を基に、生徒一人ひとりが目標を設定し、体力の向上を図る。 ②健康手帳を活用して、体力テストの結果や身体計測の記録等を共有し、自らの心と体を健やかに育み、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
体	健やかな体				
担当	保健体育科・保健安全指導部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公 開</td> <td>キャリア教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>学習・特活指導部</td> </tr> </table>	公 開	キャリア教育	担当	学習・特活指導部	①実生活や実社会と自分との関りや人との出会い、人から学ぶことを大切にしながら、「自分づくり教育(キャリア教育)」を推進する。②職業講話、職場体験、進路学習を通して自己の生き方を具体的、現実的なものとして考える態度と、多様性を尊重する姿勢、グローバルな視点をもつ力を育てる。
公 開	キャリア教育				
担当	学習・特活指導部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>学校いじめ防止対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	学校いじめ防止対策委員会	①通年での研修を通して、全教職員のいじめに対する感度を高くすることで未然防止に努める。②生徒指導部と連携した教育相談や生活アンケートにより早期発見・対応体制をつくる。③月1回以上、いじめ防止対策委員会を開催し、経過確認をていねいに行うことで、再発防止に努める。
いじめへの対応					
担当	学校いじめ防止対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・組織運営 (働き方)改革</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>情報・研修部</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営 (働き方)改革		担当	情報・研修部	①OJTやミドルリーダーによるメンター研修等を実施し、経験の浅い職員の育成を図る。②校内研修や小中一貫ブロック授業研等を実施するとともに、打合せ等でも適宜情報を共有し、教師力の向上を目指す。③情報機器等を適切に運用し、機能的・効果的な学校運営を目指す。
人材育成・組織運営 (働き方)改革					
担当	情報・研修部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">生徒指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>生活指導部・専任</td> </tr> </table>	生徒指導		担当	生活指導部・専任	①YPアセスメント・生活アンケート等を活用し、生徒理解に努めることや教育相談を充実させる。②問題行動の未然防止のため、生徒の規範意識を高め、生徒の主体的な活動を支援する。③保護者・地域・関係機関と連携するとともに職員間の報告・連絡・相談を密にし、問題の早期発見・対応・再発防止に取り組む。
生徒指導					
担当	生活指導部・専任				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援教育委員会</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	特別支援教育委員会	①特別支援教育委員会で支援を要する生徒に関する理解を深めるとともに職員間で共有し、支援・指導計画による適切な支援を行う。②ユニバーサルデザインの視点に関して職員の理解深化を進め、さらなる学びの場の充実を図る。③特別支援教室(校内ハートフルーム)の充実により多様な学びの場を提供するとともに、SCや外部関係機関と連携を図る。
特別支援教育					
担当	特別支援教育委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">地域連携</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>代表連絡会・専任</td> </tr> </table>	地域連携		担当	代表連絡会・専任	①発足2年目として、学校運営協議会をより活発な協議会にすることで、開かれた学校づくりを目指す。②祭礼ボランティアや防災訓練をはじめとする地域行事に積極的に参加する。③地区懇談会、学校・家庭・地域連携事業、まちの学校連携推進事業も活用し、地域連携を図っていく。
地域連携					
担当	代表連絡会・専任				
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					

令和5年度 岡津中学校 校時表

A時程（50分）

	6校時	5校時
出席確認	8:35 ~ 8:40	8:35 ~ 8:40
朝学活	8:40 ~ 8:45	8:40 ~ 8:45
1校時	8:55 ~ 9:45	8:55 ~ 9:45
2校時	9:55 ~ 10:45	9:55 ~ 10:45
3校時	10:55 ~ 11:45	10:55 ~ 11:45
4校時	11:55 ~ 12:45	11:55 ~ 12:45
昼食	12:50 ~ 13:10	12:50 ~ 13:10
昼休み	13:10 ~ 13:25	13:10 ~ 13:25
5校時	13:30 ~ 14:20	13:30 ~ 14:20
6校時	14:30 ~ 15:20	
帰り学活	15:25 ~ 15:30	14:25 ~ 14:30
清掃	15:30 ~ 15:45	14:30 ~ 14:45

B時程（45分）

	6校時	5校時
出席確認	8:35 ~ 8:40	8:35 ~ 8:40
朝学活	8:40 ~ 8:45	8:40 ~ 8:45
1校時	8:55 ~ 9:40	8:55 ~ 9:40
2校時	9:50 ~ 10:35	9:50 ~ 10:35
3校時	10:45 ~ 11:30	10:45 ~ 11:30
4校時	11:40 ~ 12:25	11:40 ~ 12:25
昼食	12:30 ~ 12:50	12:30 ~ 12:50
昼休み	12:50 ~ 13:05	12:50 ~ 13:05
5校時	13:10 ~ 13:55	13:10 ~ 13:55
6校時	14:05 ~ 14:50	
帰り学活	14:55 ~ 15:00	14:00 ~ 14:05
清掃	15:00 ~ 15:15	14:05 ~ 14:20

令和5年度 岡津中学校 授業時数・週時間割

①年間授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	合計
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

②週時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	合計
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

③週時間割

校時	曜	月	火	水	木	金
1		道徳	6	11	16	22
2		1	7	12	17	23
3		2	8	13	18	24
4		3	9	14	19	25
5		4	10	15	20	26
6		5	総合	(専委)	21 総合	学活

☆授業は固定式 1～26は教科の授業

☆時程 原則として50分授業を実施

☆1年生の21の授業について

4～6月、11～3月

音・美：それぞれ週1.5時間、総合：週1時間

6月～11月

音・美：それぞれ週1時間、総合：週2時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生 21の授業	音・美 約10週		総合 約15週					音・美 約17週				

1学期定期試験

2学期定期試験

令和5年度 年間行事予定

年間授業日数

204 日

総休業日数

162 日

斜体の行事等は日程は変更になる場合があります。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 土	1 月 地域訪問① 学校運営協議会	1 木	1 土	1 火	1 金	1 日	1 水 児童生徒交流会	1 金 3年教科成績提示	1 月 元日	1 木 3年定期試験	1 金 公立合格発表	
2 日	2 火 地域訪問②	2 金 開港記念日	2 日	2 水	2 土	2 月	2 木 市総体閉会式	2 土	2 火	2 金	2 土	
3 月	3 水 憲法記念日	3 土	3 月	3 木	3 日	3 火	3 金 文化の日	3 日	3 水	3 土	3 日	
4 火	4 木 みどりの日	4 日	4 火	4 金	4 月	4 水	4 土	4 月	4 木	4 日	4 月	
5 水	5 金 こどもの日	5 月	5 水	5 土	5 火	5 木	5 日	5 火	5 金	5 月 志願変更期間	5 火	
6 木	6 土	6 火 2年校外学習 ～7日	6 木	6 日	6 水	6 金	6 月 3年進路面談 1.2年教育相談	6 水 個人面談	6 土	6 火 新入生保護者 説明会	6 水	
7 金	7 日 始業式・着任式 入学式	7 水 1年自然教室	7 金	7 月	7 木	7 土	7 火	7 木	7 日	7 水	7 木 卒業式予行	
8 土	8 月 地域訪問③	8 木	8 土	8 火	8 金	8 日	8 水 個別級合同宿泊 研修(11/8-9)	8 金	8 月 成人の日	8 木	8 金 卒業証書授与 式?	
9 日	9 火 地域訪問④ 内科検診②	9 金	9 日	9 水	9 土	9 月 スポーツの日	9 木	9 土	9 火 始業式	9 金	9 土	
10 月	10 水 離任式	10 土 心電図	10 土	10 月	10 木	10 日	10 火	10 金	10 日	10 水	10 土	
11 火	11 木 新入生を迎える 会	11 日	11 火	11 土 個人面談	11 金	11 月	11 水	11 土	11 月	11 木	11 日 建国記念の日	
12 水	12 金 身体計測	12 月	12 水	12 土	12 火	12 木	12 日	12 日	12 火	12 金	12 月	
13 木	13 土 教科授業開始	13 火	13 木	13 日	13 水	13 金	13 月	13 水	13 土	13 火 公立学力検査 職員会議	13 水	
14 金	14 日 学校説明会	14 水	14 金	14 月	14 木	14 土	14 火 2年進路説明会	14 木	14 日	14 水	14 木	
15 土	15 月	15 木	15 土	15 火	15 金	15 日	15 水	15 金	15 月	15 木	15 金 1.2年定期試験	
16 日	16 火 PTA総会	16 金	16 日	16 水	16 土	16 月	16 木 定期試験	16 土	16 火	16 金	16 土 1.2年定期試験	
17 月	17 水 部活動仮入部	17 土	17 月	17 木 海の日	17 日	17 火	17 金 定期試験	17 日	17 水	17 土	17 日	
18 火	18 木 全国学状	18 日	18 火	18 土	18 金	18 月 敬老の日	18 水 個別級合同体 育祭	18 土	18 月	18 木	18 日	
19 水	19 金 3年修学旅行	19 月	19 水	19 土 大掃除	19 火	19 木	19 日 個別級合同体育祭 第2回進路説明 会	19 月	19 火	19 金	19 月	
20 木	20 土 PTA実行委員会 部活動本入部	20 火	20 木	20 日 終業式	20 水	20 金	20 月	20 水	20 土	20 火	21 水 春分の日	
21 金	21 日 歯科検診①	21 水	21 金	21 月	21 木	21 土	21 火 職場体験 職業講話	21 木	21 日	21 水	21 木	
22 土	22 月	22 木 定期試験	22 土	22 火	22 金	22 日	22 水	22 金 大掃除	22 月	22 木	22 金 大掃除	
23 日	23 火 内科検診③	23 金 定期試験	23 日	23 水	23 土 秋分の日	23 月	23 木	23 土 勤労感謝の日	23 日	23 火	23 金 天皇誕生日	
24 月	24 水 眼科検診	24 土	24 月	24 木	24 日	24 火	24 金	24 日	24 水	24 土	24 日	
25 火	25 木 内科検診①	25 土 耳鼻科検診	25 日	25 火	25 金	25 月	25 水	25 土	25 月 終業式	25 木	25 日 修了式	
26 水	26 金	26 月	26 水	26 土	26 火	26 木	26 日	26 火	26 金	26 月 公立高出願期 間	26 火	
27 木	27 土 市学状 全国学状話す	27 火	27 木	27 日	27 水	27 金	27 月	27 水	27 土	27 火	27 水	
28 金	28 日 1年自然教室・部 活保護者説明会	28 水	28 金	28 月	28 火	28 木	28 土	28 火	28 木	28 日	28 木	
29 土	29 月 昭和の日	29 日	29 土	29 火	29 金	29 日	29 水	29 金	29 月	29 木	29 金	
30 日	30 火 内科検診④ 進路説明会(3年)	30 金	30 日	30 水	30 土	30 月	30 木	30 土	30 日	30 火	30 土	
	31 水 生徒総会	31 月	31 日	31 木	31 火	31 日	31 水	31 日	31 月	31 水	31 日	
16	授業日数	20	21	授業日数	13	授業日数	20	授業日数	17	授業日数	19	授業日数
14	休業日数	11	9	休業日数	18	休業日数	10	休業日数	14	休業日数	10	休業日数
30	計	31	30	計	31	計	30	計	31	計	29	計

「総合的な学習の時間」(横浜の時間)全体計画 ～横浜市立岡津中学校～

<p>総合的な学習の時間の目標 (第1の目標)</p> <p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1)～(3) 略</p>	<p style="text-align: center;">岡津中学校 学校教育目標</p> <p style="text-align: center;">未来を切り拓く子どもたちを育てます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らねばり強く学び、生きる力 (知・体) ・互いの違いを認めあい、思いやる心 (徳) ・多様性を尊重し、グローバルな視点を持つ力 (公・開)
--	--

<p>岡津中学校 生徒の実態 学校の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は、学校や社会のきまり・約束を守ることができる ・個性を尊重し、思いやりをもった行動のとれる生徒が多い ・岡津中の生徒であることを誇りに思う生徒を増やしたい ・本校の行事への取組は生徒にとって有意義だと感じている保護者が多い。 ・道徳教育、人権教育が充実している ・学校教育活動を通して、生徒たちの自主性は育成されている

<p>岡津中学校 総合的な学習の時間の目標</p> <p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、ねばり強く課題を解決し、自分の生き方を切り拓いていく力を育成することを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、グローバルな視点を持ちながら、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの違いを認めあい、多様性を尊重しながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。
--

岡津中学校 総合的な学習の時間の内容				
目標を実現するにふさわしい探究課題		探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
キ	<p>自己の特性と生涯の中での自己の役割、社会の仕組みと将来の生き方</p> <p>(1年職業講話、自然教室)</p> <p>(2年職場体験、遠足)</p> <p>(3年進路学習、修学旅行)</p>	<p>○人は自己のよさや個性を生かし、他者や社会との関わりの中で様々な役割を担いながら生きていくことが分かる。</p> <p>○社会の仕組みや生涯という時間の流れの中で、自己の役割は常に創造・変化していくことが分かる。</p> <p>○キャリアプランニングは常に変化しつつ積み重なり、繋がっていくものであり、自己の役割と自己の価値との関係を見いだすことで生き方が豊かになることが分かる。</p>	<p>○「自己の役割」や「自己の生き方」について課題を設定し、解決への見通しや手順を明確にする。(課題設定)</p> <p>○体験活動を繰り返し行うことやインタビューなど、適切な方法で情報を収集する。(情報の収集)</p> <p>○目的にそった比較・分類・関連付けなど整理分析することによって、課題を解決すると共に、自己の考えを形成する。(整理・分析)</p> <p>○自己の適性や将来について、論理的に議論することで考えをまとめ、必要に応じて効果的かつ適切な方法で相手に伝える。(まとめ・表現)</p>	<p>○「自己の役割」や「自己の生き方」の探究を通して、夢や希望をもってキャリアプランニングをしようとする。</p> <p>(自分自身に関すること/自己理解、将来展望)</p> <p>○様々な役割を担いながら生活している人と関わることを通して、自他の特性や価値を理解し尊重しようとする。</p> <p>(他者や社会との関わりに関すること/他者理解、社会参画)</p>

表現	<p>表現活動(合唱)を協働的、探究的に完成させ、発表する過程での課題の解決や創造 (文化祭への取組)</p>	<p>○表現活動を行うためには、主体的にアイデアを生み出し実行する必要がある、その過程で自分や他者のよさに気づくことがわかる。</p>	<p>○合唱の発表に向けての学級の取組の中で課題を見だし、解決への見通しや手順を明確にする。(課題の設定)</p> <p>○各教科での学びを生かし、他の学級との比較など、適切な方法で情報を収集する。(情報の収集)</p> <p>○課題の解決に向けて、目的にそって協働的に整理分析することによって、課題を解決すると共に、解決に向けて論理的に考察する。(整理・分析)</p> <p>○合唱への取組についての意見や考えを、議論したり他者に伝えたりするなどして、より確かなものにすると共に、必要に応じて効果的かつ適切な方法で相手に伝える。(まとめ・表現)</p>	<p>○合唱の発表に向けて協働して探究的に取り組むことによって得られる学びの価値に気付き、自己有能感をもつ。</p> <p>(自分自身に関すること、他者や社会に関すること/主体性、協働性)</p> <p>○クラスメイトや音楽の専門家と進んで対話し、新たな視点をもって問題の解決に向かおうとする。(他者や社会との関わりに関すること/他者理解)</p>
伝統文化	<p>地域や日本の伝統文化の継承や発展に尽力する人々や組織、地域参画の在り方(1年自然教室、2年自然教室、3年修学旅行)</p>	<p>○地域の伝統文化には、その継承・発展に力を注ぐ人々や組織があることや、日本の他地域にある伝統文化にもそれぞれ独自性があり、継承・発展に関わる取組みには共通性があることが分かる。</p> <p>○地域の伝統文化の意味や価値について体験を通して理解し、その特色を生かした取組みに参画していくことが地域の活性化につながっていくことが分かる。</p>	<p>○伝統文化について仲間と相談しながら自ら課題を設定し、解決への見通しや手順を明確にする。(課題の設定)</p> <p>○体験や調査、他地域との比較など、適切な手段で情報を収集する。(情報の収集)</p> <p>○課題の解決に向けて、目的にそって協働的に整理分析することによって、課題を解決すると共に、自己の考えを形成する。(整理・分析)</p> <p>○伝統文化についての意見や考えを、議論したり他者に伝えたりするなどして、より確かなものにすると共に、必要に応じて効果的かつ適切に相手に伝える。(まとめ・表現)</p>	<p>○日本の伝統や文化の価値を理解し、守り伝えようとする</p> <p>(自分自身に関すること、他者や社会に関すること/社会参画)</p>

各教科の年間指導計画（令和5年度）

		4月		5月		6月		7月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
国語	1年	言葉に出会うために詩・朗読	学びをひらく 物語・漢字	新しい視点で説明文・文法	情報社会を生きる	言葉に立ち止まる/読書生活を豊かに 詩・説明・言葉・読書・書写	言葉と向き合う 短歌・随筆・文法・書写	読書生活を豊かに	心の動き スピーチ・物語・小説・言葉・漢字	筋道を立てて記録・詩	いにしへの心に触れる 古文・音読・漢文	価値を見いだす/読書に親しむ 意見・文法・書写・読書	自分を見つめる 小説・随筆・文法・言葉・漢字・詩										
	2年	広がる学びへ 詩・小説・古文		多様な視点から説明文		情報社会を生きる	言葉とともに/読書生活を豊かに 文法・書写・読書	人間のみずな 小説随筆	論点を捉えて	いにしへの心を訪ねる 古文・漢詩・書写	価値を語る 評論・文法	読書に親しむ	表現を見つめる 小説・文法・論説・詩										
	3年	深まる学びへ 詩・小説・漢文・俳句・文法			視野を広げて論説・文法	情報社会を生きる	言葉とともに/読書生活を豊かに 文法・書写・読書	状況の中で詩・小説・文法・スピーチ	自らの考えを論説・文法・詩	いにしへの心を受け継ぐ 古文・音読・漢文	価値を生み出す 論説・文法・書写	読書に親しむ	未来へ向かって 随筆・詩	3年間のまとめ									
社会	1年	地理 世界と日本の地域構成 世界の姿・日本の姿	地理 世界の様々な地域 人々の生活と環境	歴史 歴史のとらえ方と調べ方 古代 古代国家の成立と東アジア				地理 世界の様々な地域 世界の諸地域				歴史 中世 武家政権の成長と東アジア				歴史 近世 武家政権の展開と世界の動き							
	2年	【歴史】 武家政権の展開と世界の動き		【地理】 日本の地域的特色		【歴史】 武家政権の展開と世界の動き				【地理】 日本の諸地域				【地理】 地域の在り方	【歴史】 近代国家の歩みと国際社会								
	3年	歴史 近代 近代国家の歩みと国際社会二度の世界大戦と日本				現代 現代に生きる日本と世界	公民 現代社会と私たちの生活	個人の尊重と日本国憲法	現代の民主政治と社会				私たちの暮らしと経済	地球社会と私たち	より良い社会を目指して								
数学	1年	0章 算数から数学へ	1章 数の世界をひろげよう [正負の数]		2章 数字のことばを身につけよう[文字と式]	3章 未知の数の求め方を考えよう [方程式]		4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう[比例と反比例]		5章 平面図形の見方をひろげよう[平面図形]		6章 立体の見方をひろげよう[空間図形]		7章 データを活用して判断しよう[データの分析と活用]		1年間のまとめ							
	2年	1章 文字式を使って説明しよう[式の計算]		2章 方程式を利用して問題を解決しよう[連立方程式]		3章 関数を利用して問題を解決しよう[1次関数]		4章 図形の性質の調べ方を考えよう[平行と合同]		5章 図形の性質を見つけて証明しよう[三角形と四角形]		6章 起こりやすさをとらえて説明しよう[確率]		7章 データを比較して判断しよう[データの比較]		1年間のまとめ							
	3年	1章 文字式を使って説明しよう[多項式]		2章 数の世界をさらにひろげよう[平方根]		3章 方程式を利用して問題を解決しよう[2次方程式]		4章 関数の世界をひろげよう[関数 $y=ax^2$]		5章 形に着目して図形の性質を調べよう[相似な図形]		6章 円の性質を見つけて証明しよう[円]		7章 二平方の定理を活用しよう[二平方の定理]		8章 集団全体の傾向を推測しよう[標本調査]	3年間のまとめ						
理科	1年	自然の中にあふれる生命	いろいろな生物とその共通点				身のまわりの物質				光・音・力による現象				活きている地球								
	2年	化学変化と原子・分子				生物の体のつくりとはたらき				電流とその利用				地球の大気と天気の変化									
	3年	運動とエネルギー				生命の連続性				化学変化とイオン				宇宙の中の地球		自然と人間							
音楽	1年	曲の特徴を生かし、創意工夫して表現活動をしよう		音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう	曲の特徴を生かし、創意工夫して表現活動をしよう	創意工夫を生かし、音楽をつくらう	音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう	曲の特徴を生かし、創意工夫して表現活動をしよう		音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう	我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取り、味わおう	曲の特徴を生かし、創意工夫して表現活動をしよう		創意工夫を生かし、音楽をつくらう									
	2年	曲にふさわしい表現を、創意工夫して表現活動をしよう		音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう	曲にふさわしい表現を、創意工夫して表現活動をしよう	創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくらう	音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう	曲にふさわしい表現を、創意工夫して表現活動をしよう		音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう	我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取り、味わおう	曲にふさわしい表現を、創意工夫して表現活動をしよう		創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくらう									
	3年	曲にふさわしい表現を、創意工夫して表現活動をしよう		音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう	曲にふさわしい表現を、創意工夫して表現活動をしよう	創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくらう	音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう	曲にふさわしい表現を、創意工夫して表現活動をしよう		音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう	創意工夫を生かし、我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取り、味わおう	曲にふさわしい表現を、創意工夫して表現活動をしよう											
美術	1年	色彩の学習		鑑賞	レタリング		鑑賞	陶芸制作		鑑賞	飛び出すカード制作												
	2年	鑑賞	ブッシュステンド				鑑賞	らでん工芸皿				鑑賞会	墨絵										
	3年	デッサン	鑑賞	スクラッチアート				鑑賞	自画像制作				鑑賞	消しゴムハンコ									
保健・体育	1年	体づくり運動	陸上競技		器械運動		水泳		柔道・ハンドボール		サッカー・ソフトボール		バレーボール・ダンス										
	2年	体づくり運動	器械運動		陸上		水泳		サッカー・バスケットボール		柔道・バレーボール		ハンドボール・ソフトボール										
	3年	体づくり運動	選択1				選択2		選択3		選択4		バドミントン・卓球										
技術・家庭	1年	ガイダンス	加工に関する技術				木材加工				情報に関する技術												
	2年	家族と家庭生活	食生活と自立～中学生の食生活と栄養				衣生活～衣服の働きと手入れと補修				住生活												
	3年	生物育成	エネルギー変換に関する技術				情報に関する技術				家族・家庭と子どもの成長～幼児の生活												
英語	1年	Let's Be Friends!	Unit1		Unit2		Unit3		You Can Do 1	Unit4		Unit5		Unit6		You Can Do 2	Unit7		Unit8		You Can Do 3	1年間のまとめ	
	2年	ガイダンス	Unit1		Unit2		Unit3		You Can Do 1	Unit4		Unit5		Unit6		You Can Do 2	Unit7		Unit8		You Can Do 3	2年間のまとめ	
	3年	ガイダンス	Unit1		Unit2		Unit3		You Can Do 1	Unit4		Unit5		Unit6		You Can Do 2	Unit7		Unit8		You Can Do 3	3年間のまとめ	

※単元の切り替え時期は若干前後する場合があります。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
領域別の指導	行事	入学式・始業式 離任式・対面式 身体計測	3年修学旅行	1年自然教室 2年校外学習 進路見学 定期テスト	個人面談 保護者校長面談 終業式	始業式	体育祭 定期テスト	市合同体育祭 飛躍祭	区合同宿泊学習 1年職業講和 2年職場体験 定期テスト	3年公立受検 1、2年個人面談 終業式	始業式 市合同学芸会	区合同お別れ会 学年末テスト 9組お別れ会	卒業式 修了式		
	特別活動	新年度目標・自己紹介・学級組織 授業内容と交流級参加について 校外学習について		進路学習	1学期の反省 夏休みに向けて	夏休みの振り返り、防災に ついて 飛躍祭、市合同体育祭 について		飛躍祭への 取組	合同学芸会につい て	冬休みに向けて 合同学芸会につい て 2学期の反省	新年の目標・合同学芸会に ついて 校外学習へ向けて		1年間の反省		
	総合	校外学習の取組							飛躍祭(合唱コンクール)に向けて 1年職業講話、2年職場体験、3年進路に向けての取組み			市合同学芸会への取組 区合同と9組のお別れ会への取組			
	自立活動	「健康の保持」「心理的な安定」「環境の把握」「人間関係の形成」「身体の動き」「コミュニケーション」について、個々の生徒の実態に即して、自立活動の時間の他、各教科・領域またはそれら合わせた指導の中で行う。 日常生活に必要な基本動作に関する事													
教科別の指導	国語	H	漢字の学習・一般級に準ずる												
		L	図書室の使い方・丁寧語・聴写・視写・硬筆・音読・スピーチ							習字	百人一首	スピーチ			
	数学	H	一般級に準ずる												
		L	時計、九九、たし算、ひき算					お金の種類、買い物学習							
	社会	日本の地理と歴史							世界の地理と歴史、公民						
	理科	植物			物質				光・音・力			地球			
		植物			物質(実験や観察)						光・音・力				
	音楽	楽しく合唱しよう「校歌」など各交流級の合唱曲、学年合唱曲を中心に歌唱指導 リズム遊び、アルトリコーダー、合奏								卒業式に向けて「旅立ちの日に」など					
	美術	工作①		工作②		絵画				工作③			絵画		
		切り絵													
	技術	情報	パソコンの使い方		ワードの入力		インターネットについて			エクセル			文章の入力		
		木工 畑	工具の使い方		木工				木工						
	家庭	裁縫	洋裁についての知識と方法(刺し子、縫物、刺繍等)												
		調理 実習	調理用具の名称と使い方(計量、切り方、火の扱いなど含む)、食品の名称と栄養、用具・材料の準備と片付け、ゴミの分別、衛生と安全、いろいろな調理方法						グループ調理 個人調理 共同調理						
	保健体育	体力作り(ラジオ体操、自分の身体を知るストレッチ、毎朝のランニング)													
	英語	H	中学の学習内容に沿った学習												
		L	英語によるあいさつ、日常会話、アルファベット、英語のゲーム等のコミュニケーション活動を中心とした学習												
	道徳	各学年の道徳年間計画に準ずる													
	日常生活の指導	日常生活の指導(一日の流れ、挨拶、返事、身なり、清潔、用便、整理整頓、掃除、食事、連絡ノート、班活動、係活動、委員会活動、日直の仕事、交流級への参加、余暇の過ごし方)、買い物学習													

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
領域別の指導	行事	入学式・始業式 離任式・対面式 身体計測	3年修学旅行	1年自然教室 2年校外学習 進路見学 定期テスト	個人面談 保護者校長面談 終業式	始業式	体育祭 定期テスト	市合同体育祭 飛躍祭	区合同宿泊学習 1年職業講和 2年職場体験 定期テスト	3年公立受検 1,2年個人面談 終業式	始業式 市合同学芸会	区合同お別れ会 学年末テスト 9組お別れ会	卒業式 修了式	
	特別活動	新年度目標・自己紹介・学級組織 授業内容と交流級参加について 校外学習について		進路学習	1学期の反省 夏休みに向けて	夏休みの振り返り、防災について 飛躍祭、市合同体育祭 について		飛躍祭への 取組	合同学芸会について	冬休みに向けて 合同学芸会について 2学期の反省	新年の目標・合同学芸会について 校外学習へ向けて		1年間の反省	
	総合	校外学習の取組							飛躍祭(合唱コンクール)に向けて 1年職業講話、2年職場体験、3年進路に向けての取組み			市合同学芸会への取組 区合同と9組のお別れ会への取組		
	自立活動	「健康の保持」「心理的な安定」「環境の把握」「人間関係の形成」「身体の動き」「コミュニケーション」について、個々の生徒の実態に即して、自立活動の時間の他、各教科・領域またはそれら合わせた指導の中で行う。 日常生活に必要な基本動作に関すること 集団への参加・状況の理解と変化への対応に関すること 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること 感情の理解・自己の理解と行動の調整に関すること 障害による学習上または生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること 状況に応じたコミュニケーションに関すること												
教科別の指導	国語	L	ひらがな				ひらがな・カタカナ				習字	カルタ	単語	
			図書室の使い方・丁寧語・聴写・視写・硬筆・音読・スピーチ								習字	百人一首	スピーチ	
			言葉の決まり①		読解	言葉の決まり②		読解②		作文	習字	百人一首	作文	1年間のまとめ
	数学	L	数(10までの数)				数と計算(100までの数、一ケタの足し算)、時計				お金の種類、時計			
			時計、九九、たし算、ひき算				お金の種類、買い物学習							
			A:数と計算(A数の概念 A'四則計算 A''小数・分数)、B:量と測定(B長さや面積・体積 B'時間)、C:図形、D:数量関係(D文章問題 D'表・グラフ・割合)											
	社会	日本の地理と歴史								世界の地理と歴史、公民				
	理科	植物				物質				光・音・力		地球		
		植物				物質(実験や観察)				光・音・力				
	音楽	楽しく合唱しよう「校歌」など各交流級の合唱曲、学年合唱曲を中心に歌唱指導 リズム遊び、アルトリコーダー、合奏								卒業式に向けて「旅立ちの日に」など				
	美術	工作①		工作②		絵画				工作③		絵画		
	技術	パソコン				木工				パソコン				
	家庭	洋裁についての知識と方法(刺し子、縫物、刺繍等)												
保健体育	体力作り(ラジオ体操、自分の身体を知るストレッチ、毎朝のランニング)													
	体づくり運動	新体カテスト・陸上競技	陸上競技	水泳	水泳・陸上競技				球技					
英語	L	英語によるあいさつ、日常会話、アルファベット、英語のゲーム等のコミュニケーション活動を中心とした学習												
道徳	各学年の道徳年間計画に準ずる													
教科領域を合わせた指導	調理実習	調理用具の名称と使い方(計量、切り方、火の扱いなど含む)、食品の名称と栄養、用具・材料の準備と片付け、ゴミの分別、衛生と安全、いろいろな調理方法												
		グループ調理				個人調理				共同調理				
	畑	整地	植え付け	手入れ	手入れ・収穫				整地	植え付け	手入れ	手入れ・収穫		
	紙工	切り絵												
共同作業	班活動			封筒づくり			グループ製作			封筒づくり		卒業に向けての班活動		
日常生活の指導	日常生活の指導(一日の流れ、挨拶、返事、身なり、清潔、用便、整理整頓、掃除、食事、連絡ノート、班活動、係活動、委員会活動、日直の仕事、交流級への参加、余暇の過ごし方)、買い物学習													

令和5年度 各教科の観点と評価資料

国語	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各学年共通	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 スピーチ 記述課題の内容(作文・感想文・鑑賞文・創作など) 書写の作品 古文、漢文の知識 小テスト(漢字、文法など) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 音声表現(音声言語活動)の工夫 記述課題の内容(作文・感想文・鑑賞文・創作など) 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(ワークシート・レポート他) 自己評価カード 授業の取組
社会	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各学年共通	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 提出物(ワークシート・レポート他) 発表 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 提出物(ワークシート・レポート他) 発表 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物(ワークシート・レポート他) 発表 授業の取組
数学	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各学年共通	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 授業の取組 提出物の内容 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 授業の取組 提出物の内容 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組 提出物の内容 課題への取組
理科	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各学年共通	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 授業の取り組み(実験や観察など) 提出物(ワークシート・レポートなど) パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 提出物(ワークシート・レポートなど) 小テスト 振り返り問題 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組(実験や観察など) 提出物(ワークシート・レポートなど)
音楽	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各学年共通	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組 実技試験(歌唱・リコーダー他) 提出物(ワークシート・振り返りカード他) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組 実技試験(歌唱・リコーダー他) 提出物(ワークシート・振り返りカード他) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組 提出物(ワークシート・振り返りカード他)
美術	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各学年共通	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組 提出物(学習プリント、鑑賞プリント他) 作品 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組 提出物(学習プリント、鑑賞プリント他) 作品 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組 提出物(学習プリント、鑑賞プリント他) 作品
保健体育	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各学年共通	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組 単元試験 技能試験(実技試験) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組 単元試験 提出物(学習カード・ワーク等) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組(提出物の内容等も含む)
技家	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各学年共通	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 作品 小テスト 実技試験 提出物(記録カード、学習プリント等) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 作品 提出物(記録カード、学習プリント等) 	<ul style="list-style-type: none"> 作品 提出物(記録カード、学習プリント等)
英語	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各学年共通	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 音読活動 スピーチ・会話活動 レポート 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 音読活動 スピーチ・会話活動 レポート 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取組 提出物(ワーク、レポート、振り返り等) 音読活動 スピーチ・会話活動

評価・評定について

1 新学習指導要領 令和3年全面実施

今回の改定では、各教科等の目標及び内容が、育成を目指す資質・能力の3つの柱（「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）に沿って再整理され、各教科等でどのような資質・能力の育成を目指すのかが明確化されました。「子どもたちにどのような力が身に付いたか」という学習の成果を明確にとらえ、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図る、いわゆる「指導と評価の一体化」が実現されることが期待されています。

2 評価の仕方

＜教科＞ 観点別に A°、A、B、C°、Cの5段階で評価します。学期末や学年末には、観点別学習状況をもとにして5段階で評定します。その評価規準は次のとおりです。

観点別学習状況	A° 目標の実現状況が十分に満足できると判断されるもののうち、特に優れているもの。特に程度の高いもの。 A 目標の実現状況が十分に満足できると判断されるもの。 B 目標の実現状況がおおむね満足できるものと判断されるもの。 C° 目標の実現に努力を要すると判断されるもの。 C 目標の実現に一層努力を要すると判断されるもの。
評定	5 目標に十分に達し、優れているもの。 4 目標に十分に満足できると判断されるもの。 3 目標におおむね達成しているもの。 2 目標に達成できていない部分があり、努力を要するもの。 1 目標に達成できていない部分があり、特に努力を要するもの。

＜総合的な学習の時間＞ 自己評価表や自己の活動記録をもとに文章記述になります。
＜特別の教科 道徳＞ 振り返りシートなどの記録等をもとに文章記述になります。

3 評価から評定への総括の方法

＜各観点の評価方法＞（全教科共通）

- ① 全教科とも3つの観点があります。その観点について、評価資料をもとにA°、A、B、C°、Cの規準は資料ごとに作成されています。
- ② いくつかの資料の評価をもとに、観点ごとの評価を決定します。単元別の評価から、総括して各観点の評価を決定します。

1・2学期はそれまでの単元を形成的評価し、学年末に総括評価を行う

＜評価から評定への総括方法＞

- ①各観点の評価が決定したら、県や市で定められた基準によって、評定をつけます。

A°5点 A4点 B3点 C°2点 C1点 として、観点別学習状況評価を合計する。

評定	3観点の教科
5	15点～14点
4	13点～11点
3	10点～8点
2	7点～5点
1	4点～3点

＜各学期の評価・評定の出し方について＞

- 1学期は1学期の資料について観点別評価・評定を算出。
- 2学期(進路に使用する成績)は、1学期+2学期の資料を総合した観点別評価・評定。
- 学年末は、1学期から3学期までの年間を通しての総括。

公立小学校・中学校 これからの学習評価

新しい学習指導要領、スタート！

(小学校：2020年度～、中学校：2021年度～、特別支援学校は小・中学校学習指導要領に合わせて実施。)

全国どこの学校で教育を受けても、一定の教育水準を確保するために、各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めているものが学習指導要領です。教科書の内容や学校での学習指導と学習評価の基となるものです。

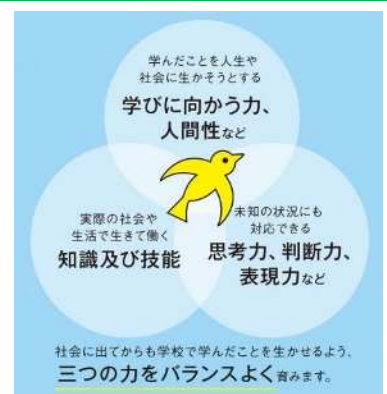
各学校では、学習指導要領に定められる各教科等の指導事項や、授業時間数等を踏まえ、地域や学校の実態に応じて、各学校が定める教育目標を実現するために、教育課程を編成し、指導と評価の計画を立てています。

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよくつけていきます。

新学習指導要領では、幼稚園から高等学校までのすべての学校教育で、

- (1) 知識及び技能
- (2) 思考力、判断力、表現力等
- (3) 学びに向かう力、人間性等

の「三つの柱」で示された資質・能力を育成することとされました。



「学びに向かう力、人間性等」の評価について

「学びに向かう力、人間性等」には、
④「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価（学習状況を分析的に捉える）を通じて見取ることができる部分と、

⑤観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分があります。

④「主体的に学習に取り組む態度」は、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

参考 ①文部科学省「新しい学習指導要領 保護者向けリーフレット」（平成29・30年改訂 学習指導要領 周知・広報ツール）

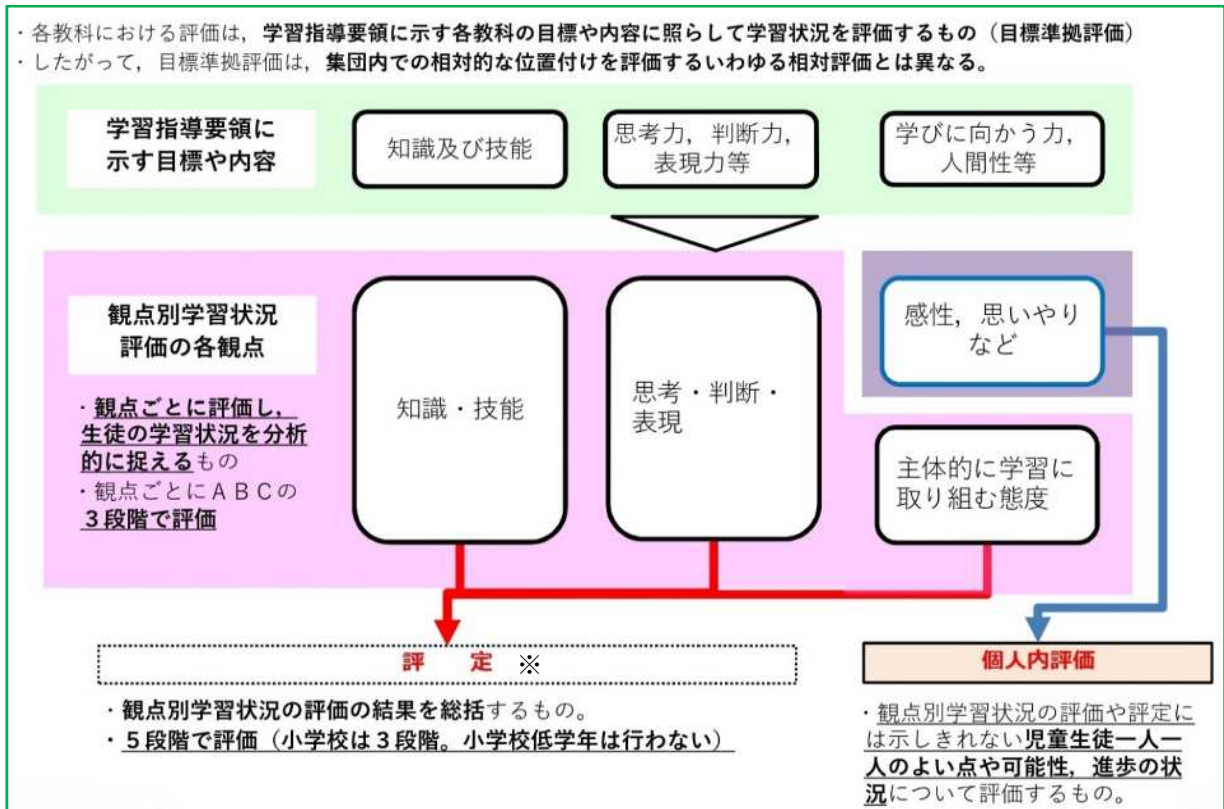
②文部科学省 国立教育政策研究所「学習評価の在り方ハンドブック」（小・中学校編）令和元年6月

③神奈川県教育委員会「カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価 学習評価資料集」令和2年3月

右の二次元コードから参照できます。



評価の基本構造



文部科学省初等中等教育局教育課程課「新学習指導要領の全面実施と学習評価の改善について」令和元年度地方協議会等説明資料

※「評価」は観点別学習状況の評価の結果を総括したものです。通知表(あゆみ)等での表記は、各学校の工夫によります。

各教科における評価は、集団内の位置付けではなく、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして、一人ひとりの学習の状況を評価するものです。

Q 観点別学習状況評価の各観点は、どのように評価されるのですか？

A 「知識・技能」は、各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。

「思考・判断・表現」は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために

必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

「学びに向かう力、人間性等」の「主体的に学習に取り組む態度」は表面に示したとおりです。また、「感性、思いやりなど」については、ABCではなく、一人ひとりのよい点や可能性、進歩の状況、努力や工夫などを積極的に認め、評価し、自信や意欲につなげる評価をし、日常的に伝えます。

Q 家庭として、学校から評価を受けとったら、どのような対応をすればよいですか？

A 児童・生徒一人ひとりが、教科等の目標をどこまで達成したか示していますので、御家庭では、受け取った結果をお子さんと一緒に御覧いただき、よく達成できたところはほめ

て伸ばしていただくように、課題があるところは今後どのように学習していくかを共に考え、次の学習への自信や意欲につなげていくようにしてください。

学習指導要領を基にした教育課程の編成や指導計画、評価計画の作成は各学校が行います。詳しいことについては、学校にお問い合わせください。

作成 神奈川県教育委員会子ども教育支援課 問合せ先 045-210-8217(教育指導グループ)

保健安全について

中学生の時期は、心身の成長・発達が著しく、生涯の健康の基盤が形づくられる時期です。三度の食事、生活リズムを整え、一人ひとりが健康に、よりよく過ごせるようにしましょう。

1) 学校内でケガや病気のと看

休養 学校で体調不良の場合、1時間程度を目安として保健室で経過を見ることがありますが、長時間の休養はできません。回復しない場合は早退になります。

早退 保護者の方に連絡をし、原則的にお迎えをお願いしています。

受診 早急に受診が必要なケガなどの場合、保護者の方に連絡をさせていただきます。日中つながる連絡先を保健調査票等に必ずご記入ください。また、ご記入いただいた連絡先に変更があった場合は速やかにお知らせください。どうしても連絡がつかないときなどには学校から最寄りの医療機関等を受診することになります。

2) 日本スポーツ振興センターについて

◎学校管理下の災害について災害給付事業が行われています。

横浜市は日本スポーツ振興センターと災害共済給付の契約をしており、給付事業は学校の設置者（横浜市）と保護者から徴収した掛け金と国庫補助金によって運営されています。

掛金 945円（保護者負担金額：460円、市負担金額：485円）

給付の対象 生徒の負傷でその原因である事故が学校の管理下で発生したもの（授業、課外授業、休憩時間、部活動、登下校時など）

必要書類 事務手続きは学校を通して行っていますが、医療機関（病院、薬局等）で記入してもらう書類についてはご家庭にお預けしています。必要事項を記載してもらった上で、すみやかに学校へご提出ください。記入の際に治療費とは別に文書料がかかることがありますので、医療機関でご確認ください。

医療費助成について 学校管理下の災害で医療機関を受診した場合には、原則として、医療助成制度（小児医療助成制度など）は利用せず、日本スポーツ振興センターに申請してください。医療助成制度（小児医療費助成制度など）を利用した場合も、日本スポーツ振興センターに給付申請をすることは可能です。

3) 定期健康診断 ◎4～6月にかけて学校保健安全法に基づき、定期健康診断を行います。

項目 身体計測・視力・聴力・検診（内科・眼科・耳鼻科・歯科）・心電図(1年生)・尿検査・結核検診（問診票のみ） ※色覚検査は希望があった場合に行います。

4) 学校医の先生方

内科 梅沢 翔太郎先生（うめ消化器内科クリニック：泉区緑園）
眼科 杉本 和久先生（立場すぎもと眼科：泉区中田西）
歯科 藤原 康行先生（ふじ歯科：泉区弥生台）
耳鼻科 酒井 隆慈先生（緑園都市耳鼻咽喉科酒井医院：泉区緑園）
薬剤師 佐藤 喜江先生（トマト薬局：泉区中田東）

横浜市立岡津中学校いじめ防止基本方針

(令和5年4月1日)

1 いじめ防止に向けた岡津中学校の考え方

【いじめの定義】

「いじめ」とは、「生徒等に対して、当該生徒等が在籍する学校に在籍している等当該生徒等と一定の人的関係にある他の生徒等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった生徒等が心身の苦痛を感じているもの」をいう。 (法第2条)

〈 いじめ防止等に向けての基本理念 〉

すべての子どもは、かけがえのない存在であり、社会の宝である。子どもが健やかに成長していくことは、いつの時代も社会全体の願いであり、豊かな未来の実現に向けて最も大切なことである。

子どもは、人と人との関わり合いの中で、自己の特性や可能性を認識し、また、他者の長所等を発見する。互いを認め合い、誰もが安心して生活できる場であれば、子どもは温かい人間関係の中で自己実現を目指して伸び伸びと生活できる。しかし、ひとたび子どもの生活の場に、他者を排除するような雰囲気が形成されれば、その場は子どもの居場所としての機能を失い、いじめを発生させる要因ともなりかねない。子どもにとって、いじめはその健やかな成長への阻害要因となるだけでなく、将来に向けた希望を失わせるなど、深刻な影響を与えるものとの認識に立つ必要がある。

岡津中学校いじめ防止基本方針

学校教育目標 “未来を切り拓く子どもたちを育てます”

- 自らねばり強く学び、生きる力 (知・体)
- 互いの違いを認めあい、思いやる心 (徳)
- 多様性を尊重し、グローバルな視点をもつ力 (公・開)

- ・ 学校教育目標の具現化に向け、自他の生命を尊重し、心身ともに健康な心と体の育成に取り組めます。
- ・ 横浜子ども会議でのアピール文「想 ～相手と心から向き合おう～」を受け、生徒会を中心に生徒自ら未来に夢を持ち、互いの違いを認め合い、主体的にいじめのない活動・学校づくりに努めます。
- ・ いじめ根絶に向け、保護者・地域・関係機関との連携や情報交換に努めるとともに様々ないじめ防止対策に協働して取り組めます。

2 いじめ防止組織の設置及び組織的な取組

学校いじめ防止対策委員会

校長・副校長・教務主任・学年主任・生徒指導専任・(養護教諭・個別支援級代表)

* 必要に応じて外部専門職（SC、SSW等）の参加

(1) 学校いじめ防止対策委員会の運営

- ① 学校いじめ防止対策委員会は月2回（原則として第2、第4金曜日）開催する。
- ② いじめを認知した場合には直ちに臨時対策会議を開催する。
- ③ 校長等の責任者は、岡津中学校として組織的に対応方針を決定するとともに、会議録を作成・保管し、進捗の管路を行う。

(2) 学校いじめ防止対策委員会の活動内容

- ① 未然防止
 - ・いじめの未然防止のため、“いじめが起きにくい・いじめを許さない”環境づくり
 - ・学校いじめ防止対策委員会の存在及び活動を生徒及び保護者・地域関係者に周知
- ② 早期発見・事案対処
 - ・いじめの相談・通報の窓口の設置
 - ・いじめの早期発見・事案対処のため、いじめの疑いに関する情報や生徒の問題行動等に係る情報の収集と記録、共有
 - ・いじめ（「疑い」を含む。）を察知した場合には、情報の迅速な共有、関係生徒に対するアンケート調査、聞き取り調査等により事実関係の把握といじめであるか否かの判断
 - ・いじめを受けた生徒に対する支援、いじめを行った生徒に対する指導の体制、対応方針の決定と保護者との連携といった対応を組織的に実施
- ③ 取組の検証
 - ・岡津中学校いじめ防止基本方針に基づく年間計画の作成・実行・検証・修正
 - ・岡津中学校いじめ防止基本方針における年間計画に基づき、いじめの防止等に係る校内研修の企画と計画的な実施
 - ・岡津中学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して適切に機能しているかについての点検と岡津中学校いじめ防止基本方針の見直し（PDCAサイクルの実行を含む。）

3 いじめの未然防止、早期発見・事案対処

(1) いじめの未然防止

- ・主体的な人権教育、道徳教育の推進
- ・授業のユニバーサルデザイン化や「子どもの社会的スキル横浜プログラム」等の活用
- ・生徒一人ひとりの自己有用感を高められるような学級活動や委員会活動、部活動等の推進と充実。
- ・横浜子ども会議等を活かす生徒会活動
- ・保護者、地域関係機関との連携の強化

(2) いじめの早期発見

- ・生徒の信頼関係の構築と全教職員を活かした教育相談の充実
- ・いじめを見逃さない教職員の体制づくり（情報収集と共有）
- ・YPアセスメントの実施
- ・いじめの定義理解を含む教職員への研修の充実と保護者、地域、関係機関との連携
- ・定期的な生活チェックアンケートの実施といじめ解決一斉キャンペーンの実施

(3) いじめに対する措置

- ・「学校いじめ防止対策委員会」の招集及び情報共有、対応方針の決定、記録
- ・いじめを受けた生徒及び保護者への支援、いじめ行為を行った生徒及び保護者への指導・支援
- ・必要に応じて外部関係機関との連携（いじめを受けた生徒に寄り添った支援）

(4) いじめの解消

少なくとも次の2つの要件が満たされている必要がある。

- ① いじめの行為が少なくとも3か月（目安）止んでいること
- ② いじめを受けた生徒が心身の苦痛を感じていないこと

※ いじめが解消されるまで保護者や関係機関との連携を密に図りながら、いじめを受けた生徒の気持ちに寄り添った支援を行う。

(5) 教職員等への研修

- ・生徒の心理や行為・行動の背後にある生徒同士の人間関係をとらえる教職員の能力を高める実践的な研修（生徒理解研修）の実施
- ・法の確実な運用を行うための研修（含事例研修）

(6) 学校運営協議会等の活用

- ・「学校運営協議会」(R4.7月設置予定)や「岡津中学校区学校・家庭・地域連携事業」等を活用し、いじめの問題や学校が抱える課題等に関する保護者、地域の共有、連携・協働

(7) 取組の年間計画

	取 組 内 容	
4月	年間計画と重点指導内容等の確認、生徒情報の引き継ぎ いじめの定義・生徒理解研修、教育相談①	1学期始業式、入学式、学校説明会 教育相談、地域訪問
5月	小中ブロック定例会① いじめ早期発見のための記名式アンケート	地域訪問
6月	YPアセスメント実施①	地区懇談会
7月	個人面談 学校運営協議会① 横浜子ども会議(ブロック子ども会議①)	個人面談、学家地連総会
8月	人権作文コンクール 校内研修(生徒指導専任夏季研修に基づく研修、人権・特別支援教育) 横浜子ども会議(区子ども会議②) 教育相談②	1学期終業式 2学期始業式
9月	教育相談② 小中ブロック定例会② 学校運営協議会②	
10月	道徳校内研究授業	
11月	個人面談・教育相談③	
12月	人権週間(人権標語づくり) 個人面談・進路面談 いじめ解決一斉キャンペーン(アンケート②)	2学期終業式
1月	小中ブロック定例会③ 学校運営協議会③	3学期始業式
2月	新入生保護者説明会 新年度方針 小中ブロック定例会④	新入生保護者説明会
3月	1年間の振り返りと新年度引き継ぎ 学校運営協議会④	卒業式、終了式
年間	学校いじめ防止対策委員会(月2回・随時)	

4 重大事態への対処

<重大事態の定義>

いじめの重大事態の定義は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」(同項第1号)、「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされる疑いがあると認めるとき」(同項第2号)とされている。

<発生の報告>

岡津中学校は、重大事態が発生した場合(疑いを含む)は、直ちに教育委員会に報告する。

5 いじめ防止対策の点検・見直し

岡津中学校は、いじめに対応する組織体制や対応の流れについて、少なくとも年1回点検を行い、必要に応じて組織や取組等に見直しを行う(PDCAサイクル)。必要がある場合は、横浜市いじめ防止基本方針を含めて見直しを検討し、措置を講じることとする。

令和5年4月7日

保護者様

横浜市立岡津中学校
校長 相澤 順

学校納入金と補助教材費のお知らせ

陽春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、学校納入金と補助教材費について、次のとおりお知らせいたします。つきましては、納入についてご協力をお願いいたします。

1 学校納入金

	1年	2年	3年
PTA会費 (▲)	3600円	3600円	3600円
生徒会費	900円	900円	900円
*学年費	1540円	1910円	1410円
合計	6040円	6410円	5910円

*学年費内訳

第1学年		第2学年		第3学年	
学校行事費	100円	学校行事費	100円	学校行事費	100円
賠償保険代	350円	賠償保険代	350円	賠償保険代	350円
健康手帳	130円	調理実習費	500円	スポーツ振興	460円
スポーツ振興	460円	スポーツ振興	460円	安振会 (▲)	500円
安振会 (▲)	500円	安振会 (▲)	500円		
1540円		1910円		1410円	

(▲) PTA会費と安振会は世帯ごとに納入していただきます。

・納入方法

J A口座から自動振替 振替指定日 6月12日

この日に残高不足の場合は、20日に再引き落としをいたします。20日に残高不足の場合は、現金で納入してください。

*3年に転入の方は、卒業証書ホルダー代として、別途500円を現金にてお支払ください。

・「承諾書」の提出について

横浜市立学校では、学校納入金に関する学校と保護者の皆様との関係を明確にするために、下記の承諾書を提出いただくことになっております。

この「お知らせ」に記載された、年間に必要な経費の内容と金額について確認していただき、4月14日(金)までに、担任へご提出していただきますようお願いいたします。

き り と り

承 諾 書

横浜市立岡津中学校長

令和5年4月 日

「学校納入金と補助教材費のお知らせ」に記載されている経費を、納入することを承諾します。

年 組 生徒氏名

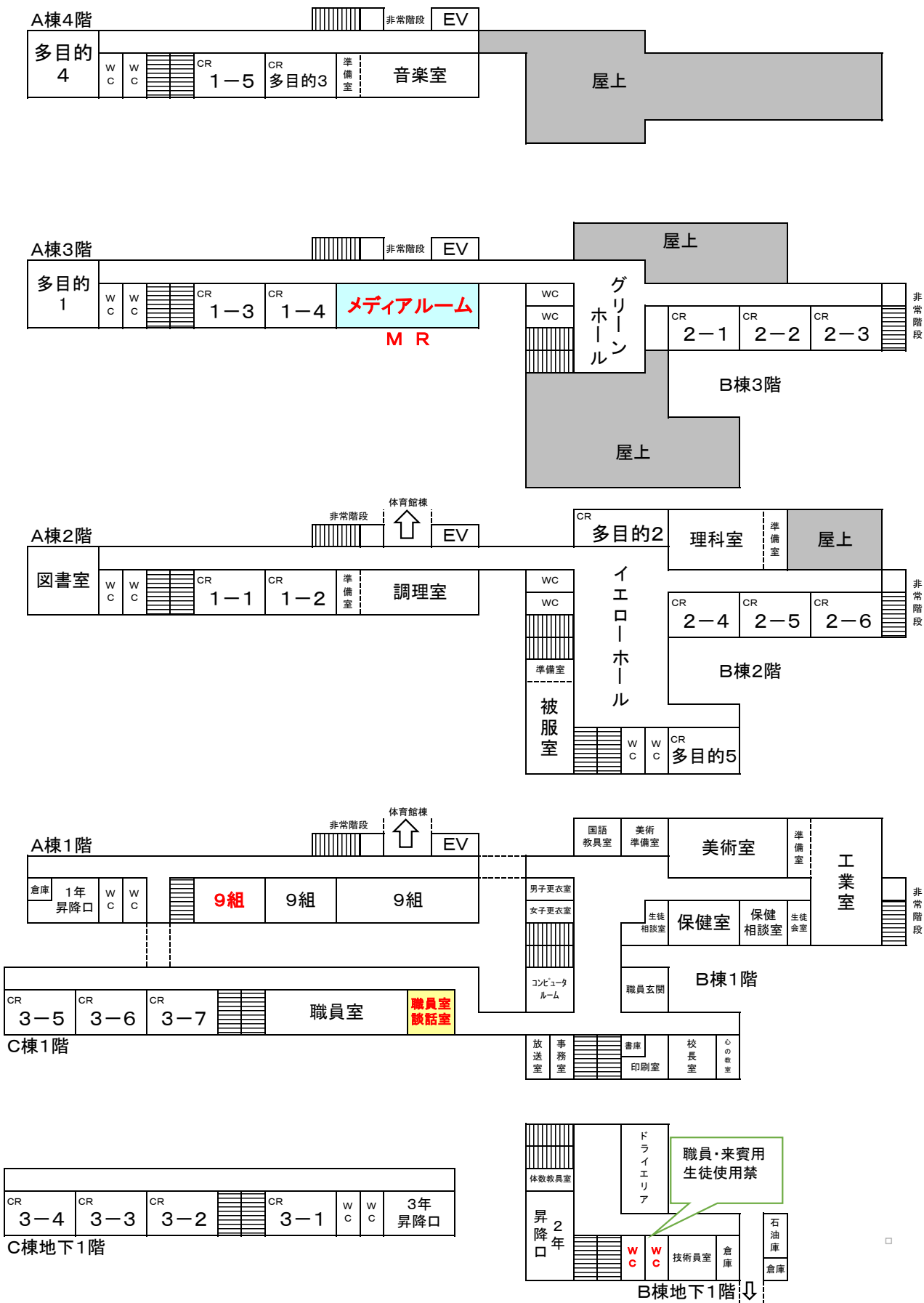
— 20 — 保護者氏名

2 補助教材費

- ・納入方法 業者から配られる封筒に記名のうえ、現金を入れて、直接納入
封筒は4月10日(月)に配布予定です。
- ・期 日 令和5年4月14日(金) 14:00~15:00
- ・場 所 岡津中学校 体育館棟 1階
- ・金 額 1年:16,520円 2年:11,720円 3年:5,820円

教科	第1学年			第2学年			第3学年		
	教材名	出版社	価格	教材名	出版社	価格	教材名	出版社	価格
国語	新基礎の学習 国語 1年	新学社	¥630	新基礎の学習 国語 2年	新学社	¥630	新基礎の学習 国語 3年	新学社	¥630
	単元別 漢字ノート 1年	新学社	¥420	単元別 漢字ノート 2年	新学社	¥420	単元別 漢字ノート 3年	新学社	¥420
	まんがで理解楽しい文法	とうほう	¥470	まんがで理解楽しい文法	とうほう	¥470			
社会	学び考える歴史	浜島書店	¥710				神奈川県版 新しい 公民	浜島書店	¥690
	アケティブ 地理総合B (白地図付)	浜島書店	¥830						
数学	よくわかる数学の学習1	明治図書	¥590	よくわかる数学の学習2	明治図書	¥590	よくわかる数学の学習3	明治図書	¥590
理科	理科の学習1	浜島書店	¥590	理科の学習2	浜島書店	¥590	理科の学習3	浜島書店	¥590
	理科資料集	明治図書	¥690						
音楽				ぼくらの翼	トヤマ出版	¥330			
美術	感じる 表す 美術 神奈川県版	浜島書店	¥760	窓飾用プッシュステンドA4版	高野工芸	¥470	ニューアートグラス	横田教材店	¥460
	デザインセット	後藤商会	¥2,450	螺鈿工芸 (小皿)	高野工芸	¥1,120	プラアート	横田教材店	¥450
	クロッキー帳	後藤商会	¥520	墨絵用 鳥の子紙 (白)	高野工芸	¥60	けしゴム印	横田教材店	¥260
	陶芸制作	後藤商会	¥1,250				画用紙	横田教材店	¥40
	カラードフォルム	後藤商会	¥300						
保体	3年間の保健資料ノート	新学社	¥660	新体力テスト (集計・分析)	第一学習社	¥242	新体力テスト (集計・分析)	第一学習社	¥242
	図解中学体育	あかつき	¥820						
	新体力テスト (集計・分析)	第一学習社	¥242						
技術	アタッシュケース材料	相場教材	¥3,000	エコキューラジオ3	相場教材	¥4,200	プロロボ用ワークシート	相場教材	¥500
				フレッシュフィール (レタス)	相場教材	¥960			
家庭	基礎縫いステップ練習布	相場教材	¥270	基礎縫いティッシュカバー-BOX	相場教材	¥660	くるくるパズル 2連	相場教材	¥278
英語	ジョイフルワーク1年 (本体のみ)	新学社	¥650	ジョイフルワーク2年 (リスニングテスト)	新学社	¥720	エイゴラボ	正進社	¥670
	A4 4タリングファイル(ミドリ)		¥258	A4 4タリングファイル(ピンク)		¥258			
道徳	A4 フラットファイル (紫)		¥60						
総合	クリアファイル A4 4ポケット (緑)		¥250						
その他	個人情報配布ファイル (赤)	神教販	¥100						
合計			¥16,520			¥11,720			¥5,820

令和5年度 岡津中学校 校舎・教室配置図



グラウンド

部活動規約改正について

1. 規約改正の趣旨

調和のとれた生活の中で、部活動を楽しむために横浜市では「横浜市立学校部活動ガイドライン」を策定しました。このガイドラインに基づいて本校の部活動規約を改正しました。

部活動指導にあたっては、生徒の安全・安心を確保し、各競技種目の特性を踏まえた適切な練習を行うとともに心身の発達に応じた休養をとり、バランスの取れた部活動を行います。また、部活動顧問の過度な負担とならないようにします。

2. 岡津中学校が目指す部活動の姿

(1) 複数顧問制の実施

- ① 部活動内容の充実、生徒の安全の確保、教職員の長時間勤務の解消等のために、複数顧問制を実施します。
- ② 部活動指導員や部活動外部指導者等の外部人材を活用するなど、指導体制を図ります。

※ 令和4年の緑園義務教育学校開校による学級数減に伴い、部活動新設を行う予定はありません。

(2) 部活動指導における基本方針

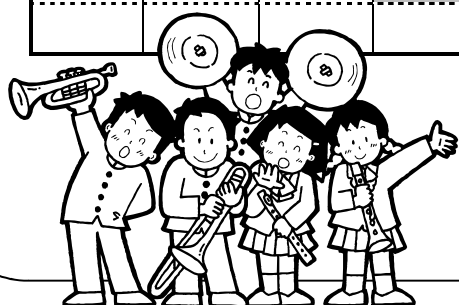
- ① 部活動における活動方針及び年間・月間活動計画を作成し、校長へ提出するとともに、生徒・保護者へ配布し、周知徹底する。
- ② 適切な活動時間と休養日の確保

【 部活動休養日の設定の原則 】

「週平日1日、土日どちらか1日を部活動休養日として設定する。」

●大会参加などで土日に活動が続くような場合は、他の曜日に休養日を振り替える。

金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
練習	練習	大会	休養日	休養日	練習	練習	練習	練習試合	休養日
				土の振り替え					



- テスト前休みや会議等で完全下校の場合は、休養日とする。

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
練習試合	休み	休み	テスト	試験	試験・練習	練習	練習試合	休養日	練習
							日の振り替え練習	火の振り替え	
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
休養日	練習	練習	練習試合	休養日	練習	練習	休養日	練習	練習
休養日	練習	練習	練習試合	休養日	練習	練習	休養日	練習	練習



- ★ 1日の活動時間は平日2時間程度、休日3時間程度

但し、大会や練習試合、文化部のコンクールや地域行事等には、その限りではない。練習試合やコンクール前等の活動時間は、部活動の特性に応じた適切な活動時間を設定する。

また、休日の活動時間は3時間程度であるが、練習準備や後片付け等の時間は含まない。

- ★ 長期休業中は、学期中の休養日の設定に準じた扱いを行う。また、長期休業中は生徒が十分休養をとることができるとともに、部活動以外にも様々な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。但し、中学校総合体育大会の全国大会（全中）に出場した場合は、その限りではない。

- ★ 計画的な部活動ミーティングや部活動の学習会等は、部活動の練習とは区別し、計画的に休養日に取り入れることもある。

～ 部活動を通して何を学か？ ～

人間力： 社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力

レジリエンス： 自発的治癒力（精神的回復力、抵抗力、復元力、耐久力、逆境力、復元力）

< 創立70周年記念講演 中畑恵里 女子バスケットボール元日本代表 >

1. 目標を持つこと。
2. 限られた時間や環境の中で何をするか。
3. ミスはつきものであること。
4. 選択肢を増やすこと。

バスケットボールから
学んだこと！



部活動仮入部(本入部)について

○仮入部とは

実際に部活動に入部する前に、活動の様子を体験できるように設けられています。3年間続けられる部活動かも期間中にしっかりと判断していきましょう。仮入部といっても、真剣に活動している先輩方がいます。真剣に取り組むようにしましょう。

○仮入部期間

4月17日(月)～5月2日(火)

※土日祝日、朝練は仮入部を実施しません。

※4月24日(月)・27日(木)・28日(金)は仮入部を含めて部活動を実施しません。

○活動日数・時間について

平日4日間 16:30活動終了、16:45下校

※活動終了後はすみやかに下校してください。

※現在の部活動ガイドラインに沿って活動しています。横浜市教育委員会通達等により、活動日数も変更となる可能性があります。

《仮入部手続きの方法》

保護者が4月14日(金)以降配信予定のGoogle Formsにて事前申込。(前日までの申込可)

○本入部

4月20日(木)～本入部後は最終下校時間18時および土日祝日の活動が可能となります。後日配布される本入部届を担任から全員受け取り、必要事項を記入して担任へ提出します。担任承認後、本人へ返却し、本人が顧問へ提出します。入部可能日は各部で異なりますので、活動内容表を確認しておきましょう。

入部の流れ

担任から生徒 → 保護者サイン → 担任へ提出 → 担任サイン → 返却 → 顧問へ提出

風水害・地震等に対する登下校対応マニュアル

横浜市立岡津中学校

	状況	学校・家庭の対応	連絡等
登 校 前	ア 朝6時の段階で 「暴風警報」「大雪警報」 「暴風雪警報」「特別警報」 「火山噴火降灰予報」※解説1 が発表されている。	(自動的に) 市立学校一斉 臨時休校 ～横浜市学校防災計画による～	○警報にて判断 ○補足的に学校HPに掲載する 場合があります
	イ「暴風・大雪・暴風雪・特別警報」 ではないが、強風、大雨、大雪等 で登校が危険と、ご家庭が判断。	(原則として) 通常授業 ○「危険」と判断した場合は、登校を見合わせて ください。	
	ウ 大地震発生 横浜市域の一箇所でも 震度5強以上の地震を観測 帰宅後、登校前の時間帯(放課後、 休日、夜間等、)に、震度5強以上の 地震が発生した。	(原則として、自動的に) 当日と翌日は全市一斉 臨時休校 ○被害が少ないなど、学校が判断すれば、 授業実施の場合あり。	○実施の場合、校門掲示、HP等発信 に努めます。 登校前 →自宅待機 ※生徒安全確認・登校再開について のみ学校より連絡します。 登下校中 ・学校の近くにいる→登校 ・家の近くにいる 一家に戻る ※ご家庭でどの地点を基準とするか 話し合っておいてください。
	エ 南海トラフ地震に関する臨時 情報 「平常時と比べて相対的に発生するリス クが高まった」等の情報が発表された。 (平成29年11月より自動的に休校になる 「警戒宣言」は出ないことになりました。)	○市教委から「全市臨時休校」の指示があれば 休校。 ○休校にならない場合は各ご家庭で登校の安全 を判断及び確保し、登校させてください。	○ご家庭で安全確保を行ってください。
	オ Jアラートで、自然災害以外の 警報が神奈川県を含んで発せられ ている。	○警報が出ている間、登校を見合わせ、建物内 安全を確保してください。 ○各ご家庭で登校の安全を判断及び確保した後 登校を開始してください。	○学校は原則休校にはしません。
登 校 後	カ 登校後 天候が悪化 「暴風警報」「大雪警報」 「暴風雪警報」「特別警報」 「火山噴火降灰予報」等発表	(状況を総合的に判断し) 預かり引き渡し ○状況によっては定刻、または下校時刻を前後に 変更して下校、または、職員見守り体制で下校。	○状況を総合的に判断し、早期に下校 出来る場合は、対応を紙面にて伝え ます。
	キ 地震発生 (震度5弱以下) 震度5強には達していないが、交通網の混乱、 停電、火災発生などで帰宅が危険と判断。	○通常の下校時間帯に天候等が回復すれば、 通常下校とする場合があります。	
	ク 南海トラフ地震に関する臨時 情報が発表された。	○家に帰っても停電、交通網の普通で保護者 が帰れない等と判断された場合は、預かり、引 き取りにすることがあります。	
	ケ 下校時刻に地域の停電。		
	コ Jアラートで、自然災害以外の 警報が神奈川県にも警報が続く。	このような場合は学校より連絡やHP等で伝達します。	
サ その他事件・事故			
シ 大地震発生 横浜市域の一箇所でも 震度5強以上の地震を観測	(自動的に) 預かり引き渡し ○迎えない場合、宿泊体制	○大地震発生の場合、自動的に留め置きま す。保護者、または代理の方が学校まで迎 えに来てください。 ※学校から電話連絡はありません。 自宅や勤務先から直ちに迎えに来て ください。	

※解説1 「警報」は地上デジタル放送の「データ連動画面」や「防災・気象サイト」から確認し、ご判断ください。